

# 調査・研修等報告書

令和 元年 8月 5日

瀬戸市議会議長 様

議員名 富田 宗一



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

## 記

期 日	令和元年 7月24日から 7月25日まで（1泊2日）
調査先・研修名	令和元年度市町村議会研修[2日間コース]「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査」
会場名（会場所在地）	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所 （国際文化アカデミー）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	研修では、決算審査の意義・重要性を認識し、地方議員が身に付けておきたい決算書類審査のポイント及び財政指標による自治体財政分析の手法を学びます これからの決算審査のあるべき姿について考察し、行政評価や、新地方公会計によるバランスシート等の財務書類を活用した決算審査について学びます。 特に、行政評価手法を活用して事務事業の改善ポイントを検討し、予算審査にも活用していく方法を、演習を通じて身に付けてきたいと思います。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
『自治体決算の基本と実践』 行政評価を活用した決算審査 第1部 自治体決算の基礎 変革の時代：ストックサイクル（ヒト、モノ、カネ）の変化 ①ヒト：人口減少、高齢化社会 ②モノ：道路や橋、施設の老朽化・余剰化 ③カネ：これからの地方財政の課題 1) 予算と決算 （1）「決算は終わったことから・・・これからの予算の方が大切」 ⇒「決算の結果を見て、予算を審議する」 （2）予算項目は全て歳入歳出決算書に （3）決算から予算へ：連続性で考える	

## 決算審査における着眼点

### 【基本方針】

- (1) 予算審議「当初・補正」との関連から審査する。  
付帯決議がある場合には、決議内容は実行されたのかどうか。
- (2) 住民の視点から審査する。  
予算の執行によって財政状況はどのようになったのか。
- (3) 全体を捉えてから、細部の議論。  
まず、全体の規模から、全体の構成、そして各業務実業を見ていく。

### 【視点】

決算審査においては、財政数値、財産、成果のそれぞれの視点から、まず分析する。

## 第2部 決算カード・財政状況資料集の理解と分析

### 1 地方財政の用語の復習

**歳入** : どのように、お金が集まってくるか

地方税：自主財源、一般財源

地方交付税：依存財源、一般財源

国庫支出金：依存財源、一般財源

地方債：依存財源、一般財源

**歳出** : どのように、お金を使うのか

目的別：総務費、民生費、衛生費、農林水産費、土木費、教育費、  
公債費（借金返済）

性質別：人件費（給料）、扶助費（公保）、公債費、  
普通建設事業費（道路や庁舎：単独・補助）

### 2 財政分析 指標解説

自治体の財政規模は、どの程度か

視点1 財政収支：分析の基本

視点2 弾力性分析：どれだけ機敏に対応できるか **経常収支比率**

視点3 余裕度

## 第3部 公会計制度改革の解説

### 1 公会計改革理解のための言葉：発生主義、アカウントビリティ

経済資源：報告主体が管理し、支配する全ての財務的・非財務的資源のことであり、一般に貸借対照表上に計上される全ての資産・負債をいう。

### 2 貸借対照表の理解と分析の視点

貸借対照表：会計年度末における財政状態（資産保有状況と財源調達状況）

### 3 分析指標による比較分析のために

歳入歳出決算書の説明の限界と財務書類4表

財務書類4表の分析の視点

## 第4部 行政評価を用いた決算審査

### 1 行政評価の目的

- ① 定量的評価⇒事業測定⇒非財務数値の数値化
- ② 定性的評価⇒ロジック分析⇒妥当性・有効性・効率性の評価

### 2 政策体系と行政評価

#### 行政評価の活用

⇒予算編成への活用：事務事業評価⇒さらに、主要な施策の成果報告  
⇒総合計画の進捗管理への活用⇒政策評価

### 3 行政評価シートの活用

### 4 定量評価の理解：指標の理解

### 5 定住性の理解

- (1) ロジックモデルと評価点
- (2) 実際の評価シート

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

### 【演習】

#### 財政分析 事例による理解

収支状況と基金残高との関係

#### I 収支健全性の分析

(分析の視点)

- ① 実質単年度収支の推移
- ② 歳入額、財政調整基金残高の推移
- ③ 歳出額、他の基金残高の推移
- ④ 単年度収支の推移

#### II 弾力性の分析

(分析の視点)

- ① 経常収支比率の類似団体と当該団体との比較
- ② 経常収支比率の分母となる経常一般財源等との関連からの比較
- ③ 科目別の比較①：類似団体よりも規模の大きい数値
- ④ 科目別の比較②：大きな割合を占める科目の数値

#### III 財政的ストックの視点

(分析の視点)

- ① 積立金現在高の比較
- ② 財政調整基金残高の比較
- ③ 減債基金残高の比較
- ④ その他特定目的基金の比較
- ⑤ 地方債残高の比較

演習を行い、問題について、決算審査の実践を行い各自が発表を評価視点を理解した。

## 調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

秩父市の決算書・名古屋市の事務事業評価票・日進市の財政状況レポートを用いながら事例にそって、決算の意義と審査のポイントを再度確認ができ、決算審査の新しいアプローチを考え、行政評価票などを用いた決算審査の実践について学ぶ事ができた。

とりわけ、日進市の財政状況レポート～統一的な基準による財政書類～は、地方公会計の説明、財務書類4表について、財務書類4表の相関関係について、対象となる会計の範囲について、〇〇年度財政書類について、財務書類の分析について一般市民でも分かりやすく記載されていました。瀬戸市においても事業評価シート（決算に係る主要な施策の成果に関する報告書）が、市民の方にももっと分かりやすい財政レポートになるようお願いしたいと思います。

# 調査・研修等計画届出書

令和 元年 7月12日

瀬戸市議会議長 様

議員名 富田 宗一



政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 元年 7月24日から 7月25日まで (1泊2日)	
調査先・研修名	令和元年度市町村議会研修[2日間コース]「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査」	
会場名(会場所在地)	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所 (国際文化アカデミー)	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	研修では、決算審査の意義・重要性を認識し、地方議員が身に付けておきたい決算書類審査のポイント及び財政指標による自治体財政分析の手法を学びます これからの決算審査のあるべき姿について考察し、行政評価や、新地方公会計によるバランスシート等の財務書類を活用した決算審査について学びます。 特に、行政評価手法を活用して事務事業の改善ポイントを検討し、予算審査にも活用していく方法を、演習を通じて身に付けてきたいと思います。	
議長名の依頼	<input checked="" type="checkbox"/> 要・ <input type="checkbox"/> 不要	依頼先(名称)
同行者名	無し	

※行程表を添付してください。